

Marp サンプルスライド

u-hyszk

XXX Univ.

YYYY/MM/DD

1. テキスト
2. コードブロック
3. Vegaの棒グラフ
4. Draw.ioのフローチャート

はじめに見出し1

見出し2

見出し3

見出し4

見出し5

見出し6

- 箇条書き1
 - 箇条書き2
 - 箇条書き3

```
import torch
print(torch.cuda.is_available())
```

こんな感じでコードブロックを書くことができる。

```
from transformers import AutoModelForMaskedLM, AutoTokenizer
model = AutoModelForMaskedLM.from_pretrained("cl-tohoku/bert-base-japanese-whole-word-masking")
tokenizer = AutoTokenizer.from_pretrained("cl-tohoku/bert-base-japanese-whole-word-masking")

inputs = tokenizer.encode_plus("私はとても [MASK] です。", return_tensors='pt')
outputs = model(**inputs)
tokenizer.convert_ids_to_tokens(outputs.logits[0][1:-1].argmax(axis=-1))
```

$$I_{xx} = \int \int_R y^2 f(x, y) \cdot dy dx$$
$$f(x) = \int_{-\infty}^{\infty} \hat{f}(\xi) e^{2\pi i \xi x} d\xi$$

こんな感じで数式を書くことができる。もちろんインラインの $LATEX$ も使える。
ついでに絵文字も使える 😊



1. まず [このいらすとやのリンク](#) から画像（ `kenkyu_woman_seikou.png` ）を右クリックでダウンロードしてください。
2. この Markdown のあるディレクトリの中に `images` という名前のディレクトリを作り、先ほどダウンロードした画像を配置してください。これで準備が整いました。



center